

患話休題

かんわきゆうだい



院長
真崎 和



本当は怖いノドの痛み

最近では風邪には抗生剤を使うなという教育が行き届いて、特に若い医師は「ノドが痛くて熱があつて」と受診した患者さんに初めから抗生剤を処方することはほとんどなくなつたように見受けられます。最近の一般的な風潮がそうであるように、そのこと以外に正義が存在しないがごとく、ヒステリックに抗生剤を使用する医師を声高に非難する人たちもいます。内科のどんな教科書にも当然のように書かれているので、もちろん正しい事実です。ただ問題はその症状が風邪（一般感冒）かどうか初期に本当に判断できるのかということです。ノドが痛くて医療機関を受診したとき、医療側に「ああこれは風邪だね」と判断できる根拠は実はほとんどないと言わざるを得ません。ノドの中は懐中電灯をかざしただけでは見えません。根拠は初期風邪症状（鼻水、ノドの痛み、咳）の9割前後がウイルス感染であつたという統計だけです。逆に言えば1割の細菌感染は見逃されるということですよ。

インフルエンザウイルスのように、集団感染したり、重症化しやすいウイルスは即時に診断できるキットがあります。他にアデノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルスなど特に幼児で重症化しやすいものは即時に診断できるようになりました。細菌では溶連菌の迅速診断キットも多用されています。しかし多くのウイルスや細菌は診断が確定するまで数日かかるのがほとんどで、初診時に確定することはできません。

先に述べたように、1割の細菌感染は見逃されてしま

いますが、自然治癒する場合も少なくないと思われれます。数日たつても熱が下がらなかつたり、咳がひどくなつたりしてようやく抗生剤を使用しても、それで何事もなく治れば問題はありませんが、ただ、中にはそんな悠長に構えられないノドの痛み（炎症）があることは強調しておかなければなりません。

われわれ耳鼻咽喉科には、「風邪で内科に行つたけれどもなかなか治らなくて」という患者さんが少なからず来られますが、初期に抗生剤を処方しておくべきという症例がまみられます。代表的なのは扁桃の化膿性炎症で、放置されたために炎症が周囲に波及し、「扁桃周囲膿瘍」となる場合です。こうなると話すことが困難になり（含み声）、食事もノドを通らなくなります。さらに進むと咽頭全体がむくみ呼吸困難になることもありま

す。場所によっては心臓の裏（縦隔）に膿が広がることもあります。いずれも生命に関わる事態です。もう1つ危ないのは「喉頭（蓋）浮腫」であつたという間に窒息し絶命することがあります。年間に全国で数名の死亡が報告されており、訴訟に至つている場合もあります。

たかがノドの痛みでも侮ることなかれ。



診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前
メールサービスを

ご利用ください。
ご希望の方はメールアドレスを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	△	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321
秋田市土崎港中央6-8-3